

SANTO DOMINGO DE GUZMÁN

2020



最も親愛なる姉妹の皆さま

私たちは、グスマンの私たちの父、聖ドミニコの祭日を迎えようとしています。彼は、世界へのいつくしみに応えようとした同情心に満ちた人でした。

サクソニアの福者ヨルダンは、当聖人の美しい描写を私たちに提供しています。「神への熱意と超自然的な熱情に燃えた彼は、尽きることのない愛徳と熱烈な精神の熱意を所有していました。」この基本的な聖ドミニコの特徴は、まさに彼が神について、または神とともに話していたことに強調されています。聖人たちの生活において神と隣人への愛は、常に一緒に歩みます。

聖ドミニコにおいては、常に仲間の注目をあび、今日ではこれまで以上に必要とされている3つの特質、喜び、現実的、そして思いやりが際立っています。しかしながら、ここで私は、あなたがたと特に思いやりについて分かち合いたいと思います。私たちがこのパンデミックの時代にあって人間として私たち自身を見つめなおす状況に置かれていると思います。

聖ドミニコは、幼少期から他者の悲惨さを自分のものとしていたことから思いやる心が育っていきました。貧しい人びとや必要としている人びと、一人ひとりのうちにキリストの現存をみて、彼らに大きな愛を抱いていました。私たちは、パレンシアで学生時代に起こった大きな飢饉をよく知っています。彼は、貧しい人びとを深く思いやり、彼が最も高く評価したもの、自分の本を含め、彼がもっているすべてのものを彼らに与えました。さらに劇的なのは、他に売るものがなくなったとき、奴隷として自分を売ろうとする生活の場面があります。これらすべてについて、彼は誤解と批判に苦しみながらも、それに優しく、平和のうちに次のように答えました。「私は、彼らの手助けができるものを家にもっていながらキリストが、貧しい人たちのために飢えに苦しんでいるのを見過ごすことはできません。」実際、聖ドミニコは、貧しい人びとと共に貧しい人びとのために貧しかったと言え


ます。これは、確かに私たちの生活において質問すべき点です。今日、私たちも含めて、経済的現状によって実に苦勞している多くの人びとや家族の貧困があります。彼らは、私たちの感受性、連帯、そして愛徳に疑問を投げかけているのではないのでしょうか。私たちは、最も必要としている人びとと共有するために私たち自身から離脱することが求められていると思います。

私たちは、このパンデミックの結果として起こっている世界から、あらゆる意味でいつくしみと思いやりを必要としている今日の状況を見ています。多くの人びとの苦痛に対する緊急性は、私たちの思いやりを必要とします。これは、ますます連帯に基づく世界に向かって歩むために、すべての苦しむ私たちの兄弟への真の取り組みを意味します。

ドミニコ会員としての姉妹は、より人間的で兄弟・姉妹的な世界を実現するために働くよう求められています。初期キリスト教共同体を模範にしましょう。彼らが、祈り、聖書を朗読し、パンを裂き、そして誰もが事欠くことのないようにすべのものを共有して共同体が建設されたことがわかります。(使徒言行録、2、42-45参照) 私たちは、主に私たちの信仰を深め、私たちの希望を強化し、そして愛徳に励むことができますよう願いましょう。

聖ドミニコの祭日おめでとうございます。

姉妹的抱擁と祈りを添えて、


Sor M^a Asunción González, O.P.
Priora General

